

富士見市公民館運営審議会議事録

開催日時	平成28年5月18日(水) 午後7時00分～9時00分
会場	水谷公民館 講座室
出席者	世羅陽一郎 瀬戸 篤 山川亜紀子 田中聰行 秋元富美子 吉川英亨 中 正美 高橋康子 是永国彦 山本百合子 平井光夫 本多和子 尾形忠男 浅見隆志 (以上14人) 鶴瀬公民館長 南畑公民館長 水谷公民館長 水谷東公民館長 鶴瀬公民館事務局担当 (合計19人)
欠席者	川端正則 関根健一
会議次第	別紙のとおり
会議資料	別紙のとおり
会議録確認	世羅陽一郎 委員
公開・非公開	公開(傍聴人0人)
会議内容	
<p>※傍聴希望者がいないことを確認。 世羅議長あいさつ。 鶴瀬公民館長あいさつ。</p> <p>1、 報告事項</p> <p>(1) 平成27年度事業評価・富士見の公民館について</p> <p>○鶴瀬公民館長より、「富士見の公民館」に沿って要点を説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て関係 → 家庭教育関係の講座への取り組みが課題。 ・鶴瀬学級 → 昨年度40周年を迎え、「記念誌」を作った。 ・市民生活講座 → 昨年度は、「布ぞうり作り」、「笑いヨガ」などに取り組んだ。 ・ホール関係 → ホール活用懇談会を実施した。緞帳の修繕を行った。 ・全市事業 → 子どもフェスティバルは、雨天中止。富士見市民大学、平和・憲法啓発事業、障がい者青年学級、地域・自治シンポジウムなどは、例年通り開催した。シンポジウムについては、「地域で育つ子どもたち」の事例を研鑽した。 ・公民館だより → ふじみ野交流センターのたよりと一緒に地域配布した。 ・施設維持管理 → 給排水管の更生工事を行った。 <p>○南畑公民館長より、「富士見の公民館」に沿って説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級講座 → 子育て関係では、就学児を持つ親向けの講座に取り組めていないことが課題。高齢者学級、学級生の通いの足の便が課題になっている。壮年層や一般向けのものには、南畑ふれあい劇場や南畑青空市場などがあり、実行委員会形式で、公民館もかかわってきた。 ・地域課題 → 人口が横ばいから増加傾向に変わってきたこともあり、まちづくり協議会も盛んに行われ、地域課題を話し合っている。 ・施設維持管理 → 空調を改善した。外壁、給排水管は、平成30年度を目途に行う予定。 ・全ての事業で「A」評価をいただいた。今後もしっかり継続していきたい。 	

- 水谷公民館長より、「富士見の公民館」に沿って説明。
 - ・今回事業評価の様式がかわったので、十分に書かせていただいた。
 - ・「お母さんのステップアップ講座」は、水谷公民館区の地域課題に即した事業であり、よく取組んでいるので、今後も続けたい。
 - ・サークル活動公開月間、評価がある一方課題もあったので、「B」とした。
- 水谷東公民館長より、「富士見の公民館」に沿って説明。
 - ・全部で21事業あるが、全てに「A」評価をいただいた。
 - ・「JOINT LIVE 水谷東」 → とても好評であったため、定例事業としたい。
 - ・「子育て応援の勉強室」 → 平成26年度からスタートした。昨年度は3回実施した。
 - ・「川の探検隊」 → 「川の学習会」から名称変更した。対象地域も、全市まで広げた。参加者も広がり、今後も継続予定。
 - ・「第23回やなせ川いかだラリー」 → 呼びかけを熱心にしたところ、参加のいかだの艇数も去年の5から12に増えた。川を知る良いきっかけだったと好評であった。
 - ・施設維持管理 → 27年度に大きなものはなかったが、今年度に設計し29年度に給排水管の更生工事を予定している。

[質疑・意見等]

委員：「川の探検隊」は、上流域の人への参加は呼び掛けていないのか。上流の人の行動によっては、水谷東地区の水質にもかかわる問題があるので。

水谷東公民館長：呼びかけはしていない。一方、水質検査はコース内の3カ所で行った。

委員：せっかくなので、今後検討を。

(2) 平成28年度の公民館の運営方針について

鶴瀬公民館長より、資料である「平成28年度富士見市公民館運営方針」に沿って、要点を説明。

- 公共施設予約システム：来年度開始に向けて、「自動抽選」の準備を進める。
- 各館とも、「家庭教育関連事業」を充実させていく。
- 子どもフェスティバルと富士見市民大学が委託事業から補助事業に変わったが、実行委員との関係をどうしていったらよいか、課題として十分に検討していきたい。
- 新たな利用者の発掘：公民館の周知の方法を工夫していきたい。
- 各館の課題を、解決していける方向に進めていきたい。

(3) その他

①各地区公運審会議開催状況報告について（各地区公運審地域議長から）

○鶴瀬公民館：4月13日（水）に実施した。平成27年度の事業報告をし、事業評価の分担を行った。今までは4人で27の事業を分担したが、今回は4人が全事業を全て評価することとした。

（意見）

- ・子育て講座は、お母さんの悩み解決に力点を置いてほしい。
- ・富士見市民大学は、新たな理事の開拓をしてほしい（地域の人材）。
- ・利用者懇談会は、まちづくりにも力を入れてほしい。

- ・利用者の高齢化への対応をしてほしい。
- 南畑公民館：4月19日（火）に実施した。
平成27年度の事業報告をし、事業評価を行った。
- 水谷公民館：実施なし。
- 水谷東公民館：3月9日（水）に実施した。
（事業等の報告を行った）
 - ・1月28日（木）：小学5年生が来館し、公民館の仕事を説明した。
 - ・2月18日（木）：小学5年生が来館し、ふれあいサロンを見学。高齢者と小学生の交流ができた。
 - ・公共施設予約システム：5月14日（土）に利用者懇談会を開き、システムの利用方法講習会の実施を確認した（6月から3月までの毎週火曜日に、4人づつ）。

②その他

- ・補助金交付要綱の制定について
鶴瀬公民館長より、「富士見市子どもフェスティバル開催事業補助金交付要綱」及び「富士見市民大学開設事業補助金交付要綱」について、資料に沿って説明。
- ・第43回富士見市子どもフェスティバルの開催報告
事務局より、4月24日（日）に開催された同フェスティバルにつき、実施状況を報告。当日朝は雨天であったが、天気が回復傾向と見込まれたため、通常開催でスタートした。一昨年よりは出足が伸びなかったが、2万人の来場者があったなど。

[質疑・意見等]

委員：委託事業の場合次年度予算は立てやすいと思うが、補助金事業の場合は相手方からの申請との絡みで予算は組めるのか。

鶴瀬公民館長：今年度の場合、委託事業の場合と同額の予算を組んできた。補助金事業の場合、補助金を受ける側が自前の予算を上乗せすれば、補助金より大きな予算で事業実施することもできる。

委員：事業実施後で、委託と補助金の違いは。

鶴瀬公民館長：どちらも、実績報告をしてもらうこととしている。

委員：補助金のメリットや違いは。

鶴瀬公民館長：委託は市が仕様書を出して相手方に指定した事業を行ってもらいが、補助金は相手方（実行委員会）が主体となりこういう内容で事業を行いたいと決定し、補助申請してくる。委託の場合教育委員会も主催の一つだが、補助金の場合は市は相手方に対して協力関係となる。

2、協議事項

(1) 今期の富士見市公民館運営審議会のまとめについて

議長：今期何をやったかまとめましょうとのことで、今回まとめた。意見をいただけるとありがたい。

委員：前年度実績を、拡大コピーして館内に掲示するのはどうでしょうか。冊子を置いて見てもらうのはなかなか難しいので。

委員：公民館事業はホームページからも見られる。公運審の活動を報告するの

が良いかはよくわからない。

委員：課題が色々書いてあるが「〇〇が必要だ」などの言い切りが多い。どう必要かまで、公運審が考えないといけない。これらがはっきりしていないと、公表までは厳しいと思う。

議長：この内容でOKか、各館の正副議長が集まって吟味したい。

委員：今回の任期2年の実績を教育委員会に報告する意味で、作ったのですね。

議長：そうです。

委員：公運審の活動を公民館利用者にも知ってもらい、利用者の活動も評価されていることを知ってもらいたいと思い、先ほどの発言をしたのですが。

世羅委員：このまとめの内容でよろしい委員は挙手を。(賛成多数)

水谷東公民館長：このまとめは、この2年間の活動結果がまとまっている。新たな取り組み(シートの工夫)もできたということで、有意義だった。次の委員さんに引き継ぐという意味でも、大きな意味がある。4館で集まらなくても良いと思う。これはこれで意味がある。

水谷公民館長：まとめの中に「5 全体を通して」という部分がある。よく読んで、改めて6月までにご意見をいただけるとよい。次につなげる意味でも。

(2) 公の施設予約システムの稼働状況と今後の方向について

鶴瀬公民館長より、説明。

① 今までの稼働状況について

- ・基本的に、混乱はない。一斉受付を残していることもあってのこと。今までは紙台帳で終わっていたが、今はシステム入力しないといけなくなったので、我々職員もきちんとした意識と入力が必要。
- ・一斉受付後の入力作業を職員が一日で行っているが、利用者の皆さんにはそれぞれご自身でやっていただく必要を感じた。
- ・市外利用者からの問い合わせへの対応。電話を受けてその場で入力する必要があるため、このやり取りをどうスムーズにしていけるかが課題。
- ・利用者端末で、その日の午前10時に空き状況を見ると「×」になっている状況でも部屋が空いているときがある。空いているなら、これを「○」にすることも課題。
- ・預かり事務は、サービスを低下させないようにしていくことも課題。
- ・本日「公の施設連絡調整会議・作業部会」を行った。ここで、ふじみ野交流センターで先行して行われた「自動抽選予約」のことが報告された。1件の行き違いがあっただけで、大きなトラブルはなかった。但し、システムの仕組み上の課題が1～2点出たとのこと。

② 今後の方向性

- ・わかりやすいシステムにしたい(必要な箇所は改良していく)。
- ・システムが苦手な利用者の方へのフォローをしていく。このことに対処していきつつ、抽選方式に移行していきたい。

水谷公民館長：いろいろ心配していたが、大きなトラブルはなくスタートできた。先々(自動抽選予約)を見越して、慣れていただくことが大切と考える。

南畑公民館長：ダメかなと弱気だった利用者の方でも、やってみるとそうでもない印象を持たれた方が、意外と多かった様子であった。混乱もさほどでなかった。

(3) その他

鶴瀬公民館長：人権推進協議会から、委員の推薦依頼が来た。現在は瀬戸委員にお願いしている。期間内は、引き続き瀬戸委員にお願いしたい。(他の委員、皆さん了解)

議 長：特に他になければ、以上を持って閉会とする。

(閉 会)

中委員：公運審の委員は最長3期・6年までで、今回3名の方がその対象となる。3名の委員皆さんにはご苦労様でした。残る委員の皆さんは、退任する委員の意思を引き継ぎ、頑張っていたきたい。

次回の開催は、平成28年7月15日(金)、鶴瀬公民館にて行う。